



あっぷれす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2022年7月15日 第145号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.145

組合員活動の時間

開催日：5月20日(金) 19:00~20:30

場所：弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール・
 会議室・岩木ホール



「5. ジェンダー平等を実現しよう」では、「世界基準で見ると、日本は女性の社会進出が低いことを初めて知った」、「差別と区別の違いを明確にするべき」「生協でジェンダーに関する講座を開いて、性差についての理解を深めたい」といった意見が出ました。

学生委員会では、今回出た意見をもとに生協での取り組みを考え、組合員に向けた企画を行っていきます。

生協学生委員会 理工学部3年 佐田輝

総代会後、「組合員活動の時間」として、総代、理事、生協職員、学生委員会でSDGsが掲げる17のゴールのうち「2. 飢餓をゼロに」と「5. ジェンダー平等を実現しよう」について話し合いました。

コロナ禍のため会場を3つに分け、オンラインで繋ぎ全体で情報を共有してから各会場、グループでの話を進めました。「2. 飢餓をゼロに」については、「食べられる分だけ購入、調理する」、「調理の際に出る食品の端材も工夫して調理する」といった個人でできることが出たほか、生協でできる意見として「弁当の割引販売」や「食材の仕入れ量を日によって調整する」などが出ました。



第61回 通常総代会 意見・要望について

5月20日(金)に開催した「第61回通常総代会」において弘前大学生協や議案書等に対しての意見・要望・質問を抜粋しました。全意見・要望・質問や回答は弘前大学生協ホームページ>WEB版あっぷれす>総代会ページに掲載しています。ぜひご一読ください。

意見・質問	生協からの回答
<p>補足資料を読んで初めて、ペットボトルキャップ回収BOXの存在を意識するようになった節があります。その為、回収BOXに関する広報を行う際にはBOXと回収活動の事に留まらず、各棟内のBOXの設置場所や回収日といった情報も盛り込んだ方が良いのかなと考えたのですがいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。確かに設置場所や回収日などの情報は広報していなかったので、今後盛り込んでいこうと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●以前、学食の弁当作りのバイトをして、廃棄が多いことに驚いた。 ●今回の議題に飢餓があることから、するくらいなら、タダでサリジェなどに並べることはできないのかと思った。 	<p>廃棄削減のため、利用者数の予測精度を上げるとともに、製造数を減らして廃棄が発生しにくい状況をつくります。 お弁当については、特に消費期限を厳格に定めております。そのため少しでも規定の時間を超過したものは、安全を第一に廃棄をすることがあります。廃棄金額を少しでも少なくするために、食材選びや調理工程に工夫をこらしておりますが、組合員の皆さんと共により良い方法を考えていきたいと思っております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●年度末近くに、研究費の残額使用に役立つチラシをいただきましたが、とても役立ちました。今年もやっていただきたいです。 ●今年度はお昼に学食前がものすごい行列になっているのを見ます。あきらめて帰る学生もいるようなので、混み具合のわかる(時間をずらせば入れるのがわかる)仕組みをつくるのはできませんでしょうか？ 	<p>[シェア] 昨年からお役立ていただけるチラシ作成を目指して取り組んでおりましたが、評価をいただけて大変嬉しいです。 [ホレスト] 現状12:05頃には中に入っていただけの状況です。また12:10~12:15には丼、麺のメニュー数を増やして時差利用を促しています。まだお知らせが不足していることもありますので周知して参ります。 なお、食堂の様子をライブカメラで配信できないか、設備や法律上の問題も確認しながら検討しております。</p>

▶ REPセッション#1を開催しました。

(総代の集会)

開催
目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設ける。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させる。

開催日：5月31日(火) 18:30~20:30

場所：大学会館2階Scorum

参加者数：79名(総代38名・学生委員会31名・職員10名)

今回のREPセッションは今年度初めの会ということで、特に1年生の参加者が多かったです。始めは全体的に緊張している様子でしたが、アイスブレイクとして行った「共通点グランドスラム」を通して、どの班も打ち解けていました。学生委員会委員長の東藤より、総代会の事後報告をし、組合員活動の時間に話した「食品ロス」と関連して、当日総代に配布した「コモパン」について紹介がありました。職員の話では、専務の上遠野より「生協と総代」をテーマに弘前大学の生協店舗や総代の歴史について紹介しました。また、総代の意見が生協店舗によって実現した例の紹介があり、意見回収の大切さを確認しました。

意見回収の時間では生協全般について意見回収を行い、様々な店舗の意見が回収できました。各班に配布した昨年のREPセッションで回収した意見集や職員の話をもとに話し合いました。中でも組合員が一番多く使うHorestについての意見が多く出され



ました。その後、全学年から総代リーダー10名が選出されました。総代リーダーには学生委員会のミーティングに参加してもらい、今後の意見回収企画で中心となって活動してもらいます。また後期のREPセッションでは運営として準備から携わってもらう予定です。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 篠崎美沙

自 転 車 点 検 (学生委員会)

開催
目的

- ① 正しい交通ルールやマナー、点検・管理方法を知ってもらい、整備されていない状態の自転車を減らす。
- ② 弘前市内にある危険な道路を知ってもらい、移動に際しての危機意識を高めてもらう。
- ③ 共済の具体的な給付事例や使い方を知ってもらう。
- ④ 学生賠償責任保険について知ってもらう。

開催日：6月4日(土) 10:00~16:00

場所：理工学部1号館前 駐輪場

参加者数：109名

当日は天候に恵まれ、学生委員と自転車業者様とで協力して合計109台の自転車を点検・修理しました。

今年は去年実施できなかったクイズブースやハザードマップブースを企画し、より交通について意識を持ってもらえるようにしました。

点検に来て頂いた組合員の方にアンケートを実施したところ、『点検の待ち時間に交通安全の知識をつける事ができるブースがあり、とても良かった』という声を頂きました。

この企画を通して、自分の自転車を点検・修理するだけでなく、交通安全について関心を持って頂けるように努めて参ります。

生協学生委員会 教育学部2年 渡辺結衣



学生総合共済からのお知らせ

6月の給付状況

病気入院	7件
病気手術	5件
事故入院	23件
事故手術	2件
事故通院・固定具使用	14件
特定傷害固定具	2件
こころの早期対応	1件
親扶養者死亡	3件
借家人賠償	1件
計	58件

給付金額

4,288,000円

たすけあいアンケートより

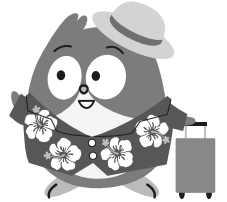
〈実習中の事故〉

「私のように悪化することもあるので、たかが虫刺されと思わず、気になったら診てもらった方がいいです。」

(野外調査中の山で虫(アブ)に刺され、

腫れが悪化。 通院1日 共済金2,000円)

- *特定傷害固定具保障は学生総合共済BF型での保障です。BF型は2021年度までに加入した方の保障です。
- *借家人賠償は2018年度までに学生総合共済(火災共済)に加入した方の保障となります。
- *火災共済は2019年3月31日をもって新規募集を終了しました。



「第21回生協ふれあいの森植樹祭」に参加しました。(主催：青森県生協連)



開催日：6月19日(日)

場所：青森県十和田市仙人平生協 ふれあいの森

弘前大学生協からの参加者数：34名

開催
目的

- ① 植樹を通して森林の保全や地球温暖化防止の取り組みを体験し、森林内での活動・体験を通じて、自然環境を守ることの大切さを学ぶ。
- ② リサイクル活動への理解と関心を深める。



今年は例年に比べて参加者が多く、和気あいあいと植樹体験・森林散策を行う姿が見受けられました。植樹体験では2人1組のペアで92本の苗を植えることができました。森林散策ではスタッフの方が企画して下さったフィールドビンゴを行いました。普段は接することのできない豊かな自然に触れることで、参加者はとても生き生きといたように感じました。リサイクル活動についてのお話もあり、この植樹祭を通して環境保護にも興味・関心が深まったのではないのでしょうか。

生協学生委員会 保健学科2年 門脇由依

この「植樹祭」は、青森県生協連合会が2001年に青森森林管理署・三八上北森林管理署と「ふれあいの森の協定」を締結し、「生協ふれあいの森」を設定し、森林内での様々な体験活動等を通じて、森林と人々の生活や環境との関係についての理解を深めるとともに、牛乳パック等のリサイクル活動を更に推進していくことを目的とし植樹祭を実施しています。

編集後記



7月は組合員還元セール七夕まつり。今年は「生協利用券が当たる!大抽選会!!」も3年ぶりに公開抽選します。例年、七夕まつりでは生協店舗で短冊を用意し、組合員の皆さまに願い事を書いてもらっていましたが、今年は久しぶりに「(コンサート)当選しますように」という短冊が見られました。「推しは推せるときに推せ」という言葉があります。好きなものに夢中になるのに年齢は関係ありませんが、それでも学生の今だから身軽に動けるといこともあります。好きなものに対して行動すること、それを経験していれば他のことにも頑張れる気がします。その行動力のサポート、生協にお任せください。(SHIMO)